

日・赤・さいたま



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

埼玉県支部

2022 春

vol. **148**



[特集] 災害時の赤十字の備え
一命のために“今”うごくー

救うを託されている。



日本赤十字社 JAPANESE RED CROSS SOCIETY 埼玉県支部

災害時の医療を支える 担い手の育成



災害時の赤十字の備え 一命のために“今”うごく

赤十字の医療救護班は地震や大雨による災害時に被災地から求められる医療ニーズの支援を行い、赤十字の使命である「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ことを果たしてきました。しかし、2年前に発生した新型コロナウイルス感染症により、これまでの災害時対応に加え、同感染症への対策も必要となっています。

様々な環境下でも赤十字の使命を果たすため、感染対策を講じながら救護員の養成に努めています。

1日目 | 基礎知識を身につける



訓練 1 救護員としての心構え



赤十字救護員の活動の根拠や立場を明確にし、救護員として活動するうえでの基本的な知識を身に付けます。
災害時の活動は自衛隊や消防等と緊密に連携をする必要があります。

訓練 3 災害用テント設営



災害用テントの種類は空気で膨らむタイプや支柱タイプなど様々です。一つずつ手順を確認しながら、適切、迅速にテント設営を学びます。

訓練 2 服装・敬礼・駆け足



災害現場などの混乱した状況の中で救護員がチームで行動するためには、規律行動が求められます。
これらの行動を学ぶことは救護員自身の安全にも繋がっています。

訓練 4 机上演習



机上において災害の想定を行い、様々な状況や環境を考慮し、どのように対応することが望ましいかを各グループで検討を重ね実災害をイメージした訓練を行います。

2日目 | 専門知識を磨く



医師・看護師・薬剤師

訓練 5 トリアージ



災害時には一人でも多くのいのちを救うために、迅速かつ正確にトリアージをすることが求められます。※トリアージとは傷病の緊急度や重傷度に応じて治療の優先度を決めること

訓練 6 医療資材



災害時の救護所には、限られた医療資源のみで治療にあたるのが求められます。災害の状況に合わせた様々な傷病者に対応ができるように、チーム内で連携を図り、医療資材を整備します。

主事・技師・その他

訓練 5 通信機器



災害時には通信障害が発生し、携帯電話等が使用できない可能性があります。そのような場合でも通信が可能な無線機や衛星電話の使い方を確認し、情報収集できる体制を整えます。

訓練 6 クロノロジー



救護活動の状況が誰でも一目でわかるように情報を整理し、活動する救護員が速やかに情報を共有できるようにします。記録した内容はPCに電子化してまとめておきます。※クロノロジーとは時系列に出来事(情報)を記録すること

3日目 | 実践力を養う(総合演習)



災害想定 列車の脱線事故が発生し多くの傷病者発生

3日目の総合演習では、実災害が発生し多くの傷病者が救護所に運ばれてくるという想定で行われました。列車の脱線事故で多くの傷病者が発生したという少ない情報のみが与えられ、時間の経過とともに少しずつ情報が明らかになってくるという緊張感のある演習です。

「どのような傷病者がいるか。二次災害のリスクはあるか。」と様々な状況を想定しながら、目の前の傷病者を一人でも多く救うということを考え、刻々と変わる状況を関係機関と情報共有を図りながら訓練にあたりました。

運ばれてきた傷病者へのトリアージを実施



傷病者情報を記録



救命処置を施す



多くの傷病者の対応に追われる



無線を使い傷病者の搬送調整



研修あれこれ♪

研修スタッフ



より実践に近い研修が実施できるのも東日本大震災をはじめ多くの災害を経験した赤十字のスタッフがいるからこそ！

バリエーション豊富な食事



研修の昼食は災害時の救護員用の食事です。可能な限り、食事も全て自己完結することが医療救護の大事なことです。



3日間の養成研修のさいご

日常的に他職種と連携を図りながら業務を行っていても、災害時等の不測の事態では、多くの傷病者や様々な情報への対応のため解決の難易度が高いものとなります。総合演習を通しそれぞれの職種の立場で感じた様々な課題を共有し、どのようにクリアしていくのかを受講者主体で考えていくことで、より一層の連携方法を見出し実災害に備え準備を整えていきます。



「歴史ある本研修会で多くの救護員を養成し、実際の災害現場に多数派遣されてきました。この研修は、全国の支部でもモデルとなる研修とされています。被災者に寄り添う救護員を養成し、皆様の安心に繋がるよう努力していきます。」

田口 茂正 さいたま赤十字病院 第一救急部長
日赤災害医療コーディネーター
埼玉県災害医療コーディネーター

ACTION!

防災・減災—命のために今うごく—

災害は、毎年のようにこの国を突然襲ってきます。しかし、その備えを行っている人の割合は約50%。つまり、2人に1人は、なんの備えもないまま災害を迎えてしまいます。さらに世界的に猛威を振っている新型コロナウイルス禍では、避難時に感染を防ぐ知識や備えも必要となります。もう一度自分の命の大切さ、さらには、自分の家族や友人の命について考えてみてください。災害時、あなたを一番守るのは、今のあなたの行動です。命のために“今”うごいてください。



ACTION! 防災・減災
命のために今うごく

災害時に知っておきたい2つの心理

正常性バイアス

何か異常なことが起きた時に、「大したことじゃない」と思い込むことで心を落ち着かせる機能のようなもの

同調性バイアス

みんなに合わせて行動し、自分だけ違った行動を取らないようにすること
日常生活であれば協調性につながる心理

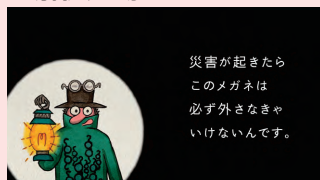
避難情報

災害時に自治体から発令される避難情報を正しく理解し、自分と自分の家族のいのちを守るための行動をとりましょう。

警戒レベル		新たな避難情報等	
5	災害発生又は切迫	せんきゅうあんぜんかくほ	緊急安全確保※1
〜警戒レベル4までに必ず避難!〜			
4	災害のおそれ高い	ひなんしじ	避難指示※2
3	災害のおそれあり	こうれいしゃとうひなん	高齢者等避難※3
2	災害状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)	
1	今後災害状況悪化のおそれ	早期注意情報(気象庁)	

不安が見えなくなる
メガネ

災害時に逃げ遅れないための
理解促進動画



災害が起きたら
このメガネは
必ず外さなきゃ
いけないです。



防災・減災特設ページ
よりご覧ください!

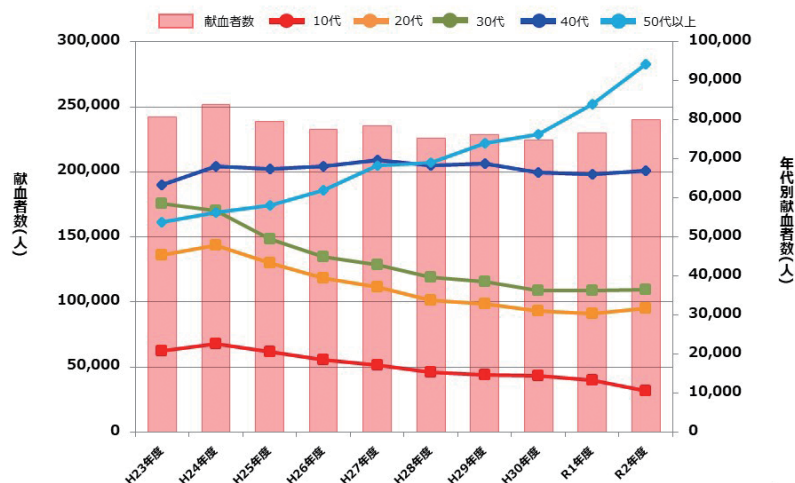
出典:内閣府

(http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/)

いのちを繋げるボランティア活動

病気の治療や手術などで輸血を必要としている人がいます。血液は、全身の細胞に酸素や栄養を運ぶほか、人体の機能を維持するために重要な役割を担ってます。そんな血液を自らが進んで提供するボランティアが献血です。献血は人のいのちを繋げています。

埼玉県の献血者数の推移（年代別）



10代～30代の献血者数は減少傾向

この10年で37%も減少しています。少子化で献血可能人口が減少している中、将来にわたり安定的に血液を確保するためには、若年層に対する理解と協力が不可欠です。

年齢比率では40代以上の方が67%近くを占めます。

引き続きご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス
感染蔓延の影響

- ▶ 献血ルームでの献血協力者の減少
- ▶ 企業や学校へ出向く移動採血の中止

献血は不要不急にあたらないことをメディアやSNSで訴え、各団体の協力もあり必要とする血液の確保ができました。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、依然として移動採血の中止が発生しています。お住いの地域の献血バスや献血ルームにてご協力をお願いします。

血液は長期保存が出来ません。
継続的な献血へのご協力をお願いします。

献血バスの配車状況、献血ルームの所在地やキャンペーン情報は
こちらをチェック



青少年100周年の
ロゴをつけたガー

2022年は 青少年赤十字100周年



児童・生徒が赤十字の精神に基づき、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人びととの友好親善の精神を育成することを目的として、さまざまな活動を学校教育の中で展開しています。



青少年赤十字の実践目標

健康・安全

いのちと健康を大切に
する

奉仕

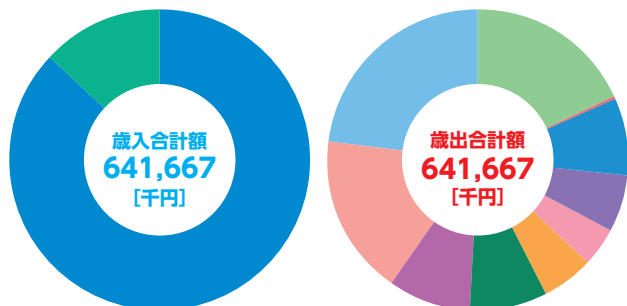
人間として社会のため、
人のためにつくす責任を
自覚し、実行する

国際理解・親善

広く世界の青少年を知り、
なかよくたすけあう精神
を養う

REPORT 会員のみなさまへご報告

令和3年度 第2回評議員会 令和4年度事業計画・予算が承認



項目	金額 [千円]
1 活動資金収入	558,000
2 事業収入・その他	83,667
歳入合計額	641,667

令和3年度第2回の評議員会は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、文書審議において令和4年度の事業計画や事業予算が原案どおり承認されました。令和4年度も赤十字事業にご支援賜りますようお願いいたします。

項目	金額 [千円]
1 災害救護活動のため	116,245
2 国際救援活動のため	2,807
3 救急法・幼児安全法等講習普及のため	52,738
4 青少年赤十字活動のため	40,110
5 赤十字ボランティア活動のため	26,849
6 救急医療活動や看護師養成のため	35,524
7 献血思想の普及や地域社会福祉活動推進のため	52,041
8 各市区町村での赤十字活動のため	58,500
9 赤十字会員の加入促進や広報活動のため	110,666
10 業務運営管理等のため	146,187
歳出合計額	641,667

PRESENT プレゼント

井上スパイス工業 (上尾市) オーガニック商品やヴィーガン商品など化学調味料不使用のカレーをはじめ各種スパイスや調味料を製造販売しています。

昭和49年創業以来スパイス一筋の井上スパイス工業。スパイス作りを通して「社会のお役に立ち、お客様第一主義で感動を与え、挑戦と進化で会社を成長させること」を経営理念とし、工場見学※の場を設ける等、積極的に社会貢献活動にも取り組んでいます。また、社会貢献として赤十字事業の活動に賛同し、寄付という形での支援を現在も継続して協力しています。今後もスパイスの文化や楽しさを紹介していくとともに、地域社会への貢献を推進していきます。

※新型コロナウイルスの影響により工場見学は中止しています。詳細はHPからご確認ください。

和カレー&ファッションスパイス

和食の知恵を生かした、
和カレーヴィーガンマーク
取得!
手軽にタンドリーチキンが
作れるスパイスのセット

※写真はイメージです。
※商品内容は変更になる場合があります。



抽選で
10名様!!



HP



通販サイト

プレゼント応募方法

はがき・FAX・メール・WEBフォームでご応募ください。

締切は**5月31日(火)**必着。

当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。いただいた個人情報はプレゼントの発送および当支部からの連絡のみに使用します。お寄せいただいたご意見、ご感想は個人が特定できないよう配慮したうえで、当支部が行う広報に活用させていただく場合があります。

WEBフォーム

こちらから



はがき・FAX・メール

下記の項目を明記のうえ応募ください。

- ①お名前
- ②郵便番号・ご住所
- ③電話番号
- ④年齢
- ⑤メールアドレス
- ⑥本紙入手場所(例/献血ルーム)
- ⑦本紙に関するご意見・ご感想

応募先

〒330-0064
埼玉県さいたま市
浦和区岸町3-17-1
日本赤十字社
埼玉県支部
日赤さいたま担当あて

いろいろな形での寄付方法のご案内

赤十字支援型 自動販売機

飲料メーカーの売り上げの一部が赤十字の活動資金になります。



赤十字活動資金 募金箱

事業者や店舗等に設置していただき、社会貢献を行っているアピールにも繋がります。



リサイクル寄付

ご自宅等にある不要なものを査定・換金し、その一部が赤十字の活動資金になります。



※ご不明な点はお気軽にお問い合わせ下さい。

【お詫びと訂正】広報紙「日赤さいたまvol147」の掲載内容の誤りについて



令和3年8月に発行した「日赤さいたまvol147」の日本赤十字社埼玉県支部旧社屋の所在地に誤りがありました。深くお詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正させていただきます。

【誤】所在地:嵐山町鉢形 → 【正】所在地:嵐山町鎌形

日赤さいたまは日本赤十字社埼玉県支部が発行する広報紙です。この広報紙は、2,000円以上のご寄付をいただいている方へお送りしているほか、市区町村の日赤窓口、赤十字施設、支部ホームページなどで閲覧することができます。なお、今後送付を希望されない方は、大変お手数ですが下記の連絡先までご連絡くださいますようお願いいたします。

